

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

西島小	学校	児童数	57
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.50	17.46	28.27	32.42	38.81	10.02	130.81	17.96	42.40
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.71	16.35	33.65	32.06	27.71	10.26	127.26	10.55	42.50
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

体力合計点では、大阪市平均を男子は6.1ポイント、女子は5.9ポイント下回った。質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」で好きと回答した割合は、男子は全国平均より3.9%、大阪市平均より2.6%上回り、女子は全国、大阪市平均より約5%下回った。「1週間の総運動時間」では、「1週間の総運動量が60分未満の児童の割合」は、男子が15.4%で全国、大阪市平均の約4%下回り、女子は全国、大阪市平均より10%以上下回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育科のかけあし運動やなわとび運動では、各学年学習カードを活用し学習を行った。そのことにより、児童が進んで楽しく運動に取り組むことができた。また、運動委員会がマット運動やなわとび運動について、技がうまくできるコツや、難しい技の紹介を児童集会で行った。その集会をきっかけに、多くの児童が運動に興味を持ち、進んで運動に取り組むことができた。今後、ソフトボール投げ、反復横跳び、立ち幅跳びはコツを掴むとともに伸ばすことができるので、かけあし運動やなわとび運動同様に全学年で学習カードを活用し、スマールステップで少しずつ学年にあった技術を身につけらるように工夫する。運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合は比較的高いので、次年度も運動やスポーツをする楽しさを、体育科や学校生活で児童が感じられるようにさらに工夫して取り組む。